

長野中央病院 リハビリテーション科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024 年 月 日

「脳卒中患者における機能予後に関する疫学調査～多施設前向きコホート研究～」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

|                      |                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 倫理審査承認番号             | 〇〇                                                                                                                                                                                                                   |
| 研究課題名                | 脳卒中患者における機能予後に関する疫学調査～多施設前向きコホート研究～                                                                                                                                                                                  |
| 所属(診療科等)             | 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション科                                                                                                                                                                                               |
| 所属責任者(職名)            | 山本周平(副療法士長)                                                                                                                                                                                                          |
| 研究実施期間               | 医学部長による許可日～2029 年 11 月 30 日                                                                                                                                                                                          |
| 研究の意義、目的             | 脳卒中に対するリハビリテーションの成果を明らかにすることを目的とした研究で、リハビリ内容の開発に貢献する研究と考えられます。                                                                                                                                                       |
| 対象となる患者さん            | 倫理委員会承認及び研究機関の長の許可後～2029 年 11 月 30 日の期間に共同研究機関で脳卒中にて医療を受けられた方                                                                                                                                                        |
| 利用する診療記録／検体          | 診断名、年齢、性別、身体機能、検査結果など                                                                                                                                                                                                |
| 他機関から試料・情報の提供を受ける方法  | 暗号化された電子的配信により提供を受けます                                                                                                                                                                                                |
| 研究方法                 | 過去の診療記録より上記の内容を収集し、退院先やその後の予後と各種診療記録との関係性の有無について検討します。                                                                                                                                                               |
| 共同研究機関名<br>(研究責任者氏名) | 鹿教湯病院(責任者:須江慶太)、松本市立病院(責任者:佐々木友博)、佐久総合病院(責任者:四十万直樹)、相澤病院(責任者:小林雅之)、伊那中央病院(責任者:唐澤卓馬)、飯田市立病院(責任者:北林雄仁)、長野松代総合病院(責任者:島方菜摘)、長野中央病院(責任者:矢島知樹)、輝山会記念病院(責任者:青木郁弥)、篠ノ井総合病院(責任者:松葉侑樹)、佐久市立国保浅間病院(責任者:小林貴紀)、長野保健医療大学(責任者:佐藤剛章) |
| 研究代表者                | 主任施設の名称:信州大学医学部保健学科<br>研究責任者:百瀬公人                                                                                                                                                                                    |
| 問い合わせ先               | 氏名:山本周平(信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 副療法士長)<br>電話:(0263)37-2836                                                                                                                                                            |

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。  
研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、  
その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。